

会報・第22号

1999年10月22日

発行 北陽高等学校同窓会

編集 同窓会広報委員会

印刷 中央出版印刷株式会社



北陽同窓

5年ぶり6度目！ 夏の甲子園出場!!



もくじ

じ

三木同窓会長ご挨拶	2	熱闘”夏の甲子園1点差で惜敗	9～10
母校の現況・林校長	2	同窓の近況(1)～(3)	11～13
第22回代議員総会	3	同窓会ゴルフコンペ(第4回)	14
平成10年度決算報告	4	第3回ゴルフコンペ(スポニチ新聞より)	15～16
平成11年度北陽高校 同窓理事・監事名簿	5	募金ご協力のお礼	17
平成11年母校進路状況	6	事務局便り・編集後記	18
母校クラブニュース(1)～(2)	7～8	協賛広告	19～20

北陽同窓会活動

会員登録・会員登録料

会長 三木 憲三
(昭和23年卒)



北陽同窓各位には、ますますお元気で活躍されていることと心よりお喜びを申し上げます。平素から同窓会活動に対して、ご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

このたびの会報22号「北陽同窓」を発行するに当り、同窓会活動について、ひと言ふれさせていただきます。

先づ、今年度の活動方針については、去る4月24日(土)母校で開催いたしました代議員会の席上で申し上げ、了承をいただいたおりますが、本紙「北陽同窓」を発行すること、並びに8月26日に行う、今や恒例になった夏のゴルフ懇親会を開催する等で、その他は取り立てて大きな行事は予定しておりませんが、ただ来年度は、母校の創立75周年という節目を迎えることになりますので、これを契機に記念事業としての意義ある行事を行うことを考えております。来年は又、2000年という今世紀における最後の年でもあります。これらのことを考えるときに、これを同窓会の行事としてのみ行うではなく、母校北陽高校と一緒に記念行事にいたすべきであると感じ、そのむねを林校長先生と協議した結果、喜んで賛同すると快諾を頂きました。校長先生との話でも、今急速に進む少子化現象に伴う学校経営苦難時代を避け、北陽が21世紀へ如何に掛け橋を渡すかと云うことを深刻な問題として取りあげると共に、将来構想に対しても大変な情熱を傾注されていることを知り、力強い思いが致しました。

今や北陽高校といえば全国津津浦浦にまでその名は知れ渡っていることは卒業生にとっても、まことに嬉しい限りです。これは何といっても野球、サッカー等のスポーツの活躍がマスメディアによって広がったお陰であることは云うに及びません。しかし北陽においては、高校教育の基本である人間形成に努め、有為な人材が社会に送り出され各方面で多くの人々が活躍され、これが広く社会の認知するところになっていることも確かなことです。北陽建学の精神である、知・徳・体の調和をめざした全人教育による人材育成が75年という歴史と共に培われてきた賜であります。

このような母校を、今後更に、発展してゆく姿を見守り続けられることが、全卒業生の念願であると存じます。厳しい困難な時代を迎え、このような時にこそ母校への帰属意識をたかめて頂き、より一層の愛校心を發揮していただくよう衷心よりお願い申しあげる次第です。そして75周年記念事業におきましては、母校と卒業生の心の触れ合う機会を押し進めてまいる所存です。

すでに、この準備にも着手し、5年振りの同窓会名簿の発行への作業、又75周年記念式典を、2000年11月4日(土)に、新阪急ホテルにおいて開催することを予定しております。その他、具体的なことにつきましては改めてご連絡を申しあげます。

今後共変わらぬご支援、ご協力を賜ります様お願い申しあげます。

母校の現況

校長 林 敏夫



同窓の皆様にはお変わりなくご健勝のことと存じます。平素は母校のために何かとご高配を賜わり、深く感謝いたします。

皆様の母校北陽も今年で創立74年を迎え、歴史と伝統にまた一年の重みを加えました。思うに、歴史は単に長いだけで価値があるのではなく、誇り高い精神と伝統を内包するところに意味があります。北陽の伝統の原点は建学の精神であり、知・徳・体の調和した全人性の育成にあることは論をまちませんが、私はここで糸島初代校長のことばを思い出すのです。それは先生の主唱された実践的徳目といふべきもので、「親を思え、陰徳を積め」という二句であります。簡明にして、人倫の要をついているではありませんか。わが国は戦後宮々として経済大国を築きあげましたが、多くの人々は物質文明に心を奪われ、飽くなき欲望の虜となって、古来の高貴な精神文化を忘れてしまった現状もあります。世界史を顧みても、父祖の遺徳を軽んじ、伝統を無視した国はことごとく滅んでいます。私たちはこのような豪傑目を見ないためにも、精神・道徳重視・伝統尊重を心がけなければなりません。そのような観点から、わが北陽では、もう一度糸島先生の教えに立ちかえり、「親を思え、陰徳を積め」と自ら呼びかけ、座右の銘としたいと思います。

さて、新年度が始まりましたが、昨年予告しましたように、今年から公立高校と同じく第2・4土曜は休日といたしました。ただし7時限の授業・選択授業の大幅導入によって今まで以上に学力増進策を打ち出しています。また、休日の土曜については、補習授業、クラブ活動も出来るようにし、生徒の自主性に資することとしています。

現在学校の規模は教員が93名、職員12名、生徒総数1,521名という大世帯です。少子化傾向の中ですが、今年度の入学者が募集462名に対し、受験2,511名のうち513名で、51名が予定数を上回った結果によるものです。

今春卒業した生徒423名の進路は、大学244名、専門学校55名、就職60名、浪人等62名でした。進学が増え、就職が減って行く傾向は今年も変わらず続いています。

クラブ活動は相変わらず活発です。運動部員509名、文化部員117名、計626名といえば、全生徒の4割以上に当りますから、学校は活力に満ちていることがお分かりでしょう。その中でもサッカー115名、次いで硬式野球が107名、陸上47名、水泳40名と続き、文化部ではプラスバンド23名、美術18名が上位です。実績はサッカー、陸上、水泳の高校総体出場、軟式野球の選手権ベスト4、国体3位といずれも全国大会で北陽の名を挙げてくれました。他の各部もそれぞれ厳しい練習に耐え、精進を重ねて栄光を目指しています。必ずやその努力が報われるものと期待しています。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を切にお祈り申し上げます。

◇ 第22回代議員総会開催 ◇

—— 三木同窓会長、三選就任 ——

第22回代議員総会が、4月24日(土)午後1時から、母校会議室で代議員35名の出席で開催された。長期化している景気低迷と地方議員選挙の投票日前日と言う悪条件とが重なり出席者が例年より少なく、いささかの淋しさと、開催日選定への反省が残った。然し、当日は、第1回卒業生の「松村」「岩永」さんがお元気なお姿でご出席頂いたこと、又、戦中、戦後30年迄の卒業の同窓の方々が、出席の過半数以上であったことが印象的であった。東京支部より小林栄三支部長と内海昭新理事が出席された。

代議員総会は、先づ依藤事務局長の開催宣言で始まり、物故者に黙禱、全員で校歌を齊唱し、続いて三木会長が挨拶、同窓会の財政も会報年1回の発刊で郵送料等が大巾に削減され黒字に転換した。また、同窓会活動に就いて、昨年度ご承認頂いた活動方針通り、5年区切の年号と母校の創立周年とが合致するので活動の節目を5年単位とする。従って来年は、今世紀最終年の2000年で、その上母校創立75周年と言う大変意義深い年に当たるので、来年は75周年記念行事を全卒業生対象で開催を計画しており、校長先生と相談の上早急に決定する。次に、同窓の山崎勝己先輩(昭和18年卒)が今度「ライオンズクラブ国際協会近畿地区カバナー」にご就任されたこと、登山家、小西浩文氏(昭和55年卒)が無酸素で「ヒマラヤの8000メートル峰に挑戦」は、世界のトップ・クライマーとして名を連ねており、若干20才の時シッパパンマ(8012m)の登頂成功は世界最年少の記録として山岳会では有名、また最近プロゴルファー井田安則氏(昭和58年卒)の躍進振り等、同窓会の誇りとして紹介された。

引続いて、林校長先生がご挨拶され、学校関係の現況、特に進学、就職、それに少子化問題について、母校の現況と対応について説明された。更に三木会長から紹介の有った本校の多くの卒業生の実社会での活躍は大変有難いことで、そのお蔵と言つてもよいこの不況真只中にもかかわらず本校生の就職率は100%である。

これからは本校卒業生の各界での活躍状況を知らしめ、教育面でも活用したい。

統いて、校長先生から長年に渡り教頭として教鞭を取られていた金沢先生が、目出度く3月31日付で定年を迎えて退職されたので、後任の教頭大谷宗平先生が紹介された。大谷新教頭先生から学校のレベルアップに全力投入する旨の力強いご挨拶を頂いた。

同窓会代議員総会にご出席の前金沢教頭先生から退職のご挨拶があり、全員が拍手にて託しお見送りした。

閉会前に、長年同窓会活動に尽力された最長老の松村理事はじめ、枝松理事、大森理事、宮永理事が役員を辞任されたので、三木会長より、その功績を称え感謝状と記念品が贈呈された。4人の皆様方大変ご苦労さまでした。次いで新たに理事に就任された東京支部事務局長内海昭氏(昭和43年卒)の紹介があり、併せて小林東京支部長から支部活動の報告もあった。

最後に岡田新副会長の挨拶で閉会した。

今回は、長崎慶一理事(元プロ野球選手、東京支部幹事長)の講演を予定していたが、オリンピックコーチとして出張中に欠席され、ピンチヒッターで、新理事の内海昭氏が講演された。

第2部の懇親会は、今年は、学校が休日、地方選挙日の前日、時間が1時間早い等諸事情が重なり、今回はお酒ビールにおつまみに、わらびの里製の折詰め弁当で、テーブルでの懇親会となつたが、予想外に大変盛り上がり楽しい一時を終えて散会した。(栗田 記)



■ 平成10年度 同窓会決算報告

自 平成10年4月1日
至 平成11年3月31日

収入の部

科 目	予 算	実 績	摘 要
前期繰越金	13,945,979	13,945,979	
会 費	2,075,000	2,100,000	420名×@5,000
代議員会費	200,000	245,000	49名×@5,000
会員協力金	3,000,000	1,630,000	321名
会報広告収入	600,000	560,000	
受取利息	40,000	29,544	
合 計	19,860,979	18,510,523	

支出の部

科 目	予 算	実 績	摘 要
会 議 費	100,000	50,363	
代議員会議費	200,000	263,514	
協 力 金	250,000	250,000	
人 件 費	500,000	451,600	
交 通 費	80,000	77,200	
通 信 費	1,500,000	1,407,723	
消 耗 費	120,000	93,673	
慶弔費	200,000	145,746	
雑 費	50,000	26,285	
予 備 費	200,000	0	
事 業 費			
会報発行費	1,100,000	1,039,660	
協力推進費	300,000	63,718	
事業運営費	100,000		
小 計	4,700,000	3,869,482	
次期繰越金	15,160,979	14,641,041	
合 計	19,860,979	18,510,523	

■ 平成11年度 同窓会予算(案)

収入の部

科 目	金 領	摘 要
前期繰越金	14,641,041	
会 費	2,280,000	456名×@5,000
代議員会費	250,000	50名×@5,000
会員協力金	1,600,000	前年度実績
会報広告収入	300,000	前年度実績の50%
受取利息	28,000	
合 計	19,099,041	

支出の部

科 目	金 領	摘 要
会 議 費	100,000	
代議員会議費	250,000	
協 力 金	250,000	
人 件 費	500,000	
交 通 費	80,000	
通 信 費	1,300,000	
消 耗 費	120,000	
慶弔費	150,000	
雑 費	30,000	
予 備 費	200,000	
計	2,980,000	
事 業 費		
会報発行費	1,050,000	
協力推進費	100,000	
事業運営費	100,000	
計	1,250,000	
小 計	4,230,000	
次期繰越金	14,869,041	
合 計	19,099,041	

予約額：4,660円（税込・税抜）

平成11年度 北陽高校同窓会理事・監事名簿

役 職	卒業年	氏 名	元	住 所
顧問	1965	鶴 美一	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	白川 信一	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	高木 久之	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	高橋 隆二	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	高木 信一	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	中西 勝一	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	中西 勝二	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	小林 博志	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	小林 実一	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	小林 伸一	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	山下 伸一	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	山下 勝也	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐々木 伸一	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐々木 伸二	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐藤 伸一	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐藤 伸二	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐藤 伸三	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐藤 伸四	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐藤 伸五	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐藤 伸六	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐藤 伸七	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐藤 伸八	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐藤 伸九	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐藤 伸十	新潟市西区	新潟市西区
顧問	1965	佐藤 伸十一	新潟市西区	新潟市西区
監事	1965	山本 伸一	新潟市西区	新潟市西区
監事	1965	山本 伸二	新潟市西区	新潟市西区
監事	1965	山本 伸三	新潟市西区	新潟市西区
監事	1965	山本 伸四	新潟市西区	新潟市西区
監事	1965	山本 伸五	新潟市西区	新潟市西区
監事	1965	山本 伸六	新潟市西区	新潟市西区
監事	1965	山本 伸七	新潟市西区	新潟市西区
監事	1965	山本 伸八	新潟市西区	新潟市西区
監事	1965	山本 伸九	新潟市西区	新潟市西区
監事	1965	山本 伸十	新潟市西区	新潟市西区
監事	1965	山本 伸十一	新潟市西区	新潟市西区

平成11年母校進路状況

①四年生大学進学率 51.1%(昨年は 46.1%)

平成3年以降7年連続して伸び、過去最高であった昨年の記録をさらに更新。

②大学合格者延べ数 494名(昨年は 395名)

③国公立大学合格者数 3名

今年も大いに期待できそう。

■ 平成10年度 大学入試合格者数一覧

平成11年4月2日現在

大学名 推薦一般浪人合計昨年			
国公立大学			
大阪教育大	1	1	0
北見工大	1	1	0
茨城大	1	1	0
鹿児島大	0	1	
神戸大	0	1	
德島大	0	1	
大阪外大	0	1	
私立大学			
愛知大	0	1	
青山学院大	1	1	0
専修大	1	2	0
英和大	1	1	0
桐朋大	2	6	9
大手大	2	2	14
大阪学院大	22	5	32
大阪経済大	1	4	7
大阪経済大	1	2	3
大阪経済法科大	2	1	3
大阪芸術大	2	3	5
大阪工大	3	1	5
大阪工業大	3	1	4
大阪国際大	4	5	14
大阪産業大	34	1	38
大阪産業大	3	3	4
大阪商大	23	5	20
大阪商大	4	2	6
大阪電気通信大	5	3	10
大阪電気通信大	5	2	
大阪電気通信大	0	0	
岡山大	0	1	
岡山理科大	2	1	3
金沢工大	1	1	1
川崎医療福祉大	0	0	
関西大	5	5	6
関西大	0	0	
関西外国语大	1	1	2
関西国际大	1	1	3
関西福祉大	1	1	2
関西福祉科大	1	2	2
関東学院大	1	1	0
吉備国際大	4	4	2
京都外大	1	1	0
京都大	6	9	19
京都产大	15	5	20
京都精華大	1	1	0
近畿大	7	4	11
岐阜大	2	3	1
日本工大	2	2	1
甲子大	2	5	2
同志社大	0	2	
神戸学院大	12	1	16
神戸艺术工科大	0	1	
神戸国际大	2	2	4
高野山大	0	1	
国际武道大	0	1	
四天王寺国际佛教大	1	1	2
順天堂大	0	1	

大学名 推薦一般浪人合計昨年			
都留大	3	3	3
都留大	1	1	0
成蹊大	11	1	15
都留大	1	2	3
高崎大	0	1	
宝冢大	1	1	4
第一大	1	1	2
第一大	2	2	1
大东大	1	1	1
多摩大	0	1	
中大	0	1	
帝大	2	2	1
天理大	1	1	0
東洋大	6	1	7
東洋大	1	1	2
東海大	0	0	
同志社大	0	4	
東京大	1	1	0
東福大	0	1	
東邦大	1	1	0
獨協大	1	1	0
常葉大	1	1	0
德島大	0	3	
徳島文理大	0	1	
長崎大	3	3	1
名古屋大	1	1	0
名古屋大	0	0	
奈良大	0	1	
奈良大	18	6	27
日本大	1	1	0
日本大	1	1	0
日本大	1	1	0
阪大	2	15	8
阪大	6	3	9
路大	0	3	
兵工大	0	1	
福山大	0	5	
佛教学院大	0	3	
北陸大	1	1	1
北陆大	2	2	3
北医大	0	1	
北医大	0	4	
松山大	0	0	
松山大	1	1	1
南大	1	1	2
武藏工大	0	0	
武藏工大	0	1	
武藏野美大	0	1	
明治大	3	1	4
明治大	1	1	0
正立大	1	1	1
立命馆大	1	1	2
立命馆大	0	1	
龍谷大	1	1	1

大学名 推薦一般浪人合計昨年			
短大			
筑波大	2	3	2
筑波大	1	1	0
今实大	250	103	351
昨年实大	199	197	373
短期大学			
青山短大	1	1	2
大阪工大	2	2	2
大阪工大	4	4	5
大阪短大	7	7	8
大阪短大	1	1	3
大谷短大	1	1	0
河西外国语短大	4	4	2
河西外国语短大	1	1	3
河西云南短大	2	2	4
河西云南短大	1	1	2
京都短大	1	1	2
京都短大	1	1	1
京都短大	1	1	0
京都短大	1	1	3
京都短大	0	0	2
堺短大	0	2	5
滋賀文化短期大	1	1	0
滋賀文化短期大	0	1	1
成安造形短期大	0	1	1
涉島文理大	0	1	1
德島工大	0	1	1
德島文理大	0	1	1
浪花短大	10	10	11
山口短大	1	1	0
今实短大	35	6	46
昨年实短大	25	24	56

今年度卒業生 421名

四年制大学	215名
短大	29名
専門学校	55名
就職(自営を含む)	60名
未定(浪人を含む)	62名

母校・クラブニュース (1)

「剣道北陽」の道



監督 棒谷 啓二

昭和8年11月3日の神宮競技(後の国体)における中尾巖選手の優勝以来、北陽(当時は北陽商業)の名は全国に轟き、我が部は「剣道北陽」と称される伝統ある部となった。その伝統を守るべく、幾多の主将たちが労苦を重ね、部員と共に喜びを味わい、又苦しみをも分かち合ってきたのである。まさに「剣道北陽」の名に恥じることのないように。

「剣道部歌」(メロディーは不明)に、「赤き心の荒男が勘む剣の教えこそ、正義を愛し情けを知る大和心の泉なれ」の一節がある。汗を流し自らの肉体と魂を鍛えるにとどまらず、人間全体に思いを懸ける。これぞ実に、「剣道北陽」の精神なのであろう。

時は平成の世。部員は3学年で10数名に過ぎない。最も近い優勝と言えば、昭和53年11月の北摂学校剣道大会となろうか。それも10年振りの優勝であった。皆が背筋を伸ばし、「剣道北陽」の伝統の重さを少しでも感じることができた時であった。そして現在に至る。部員数も減る中、伝統だけは守りたいとの思いで、年1回のOB会も開き、諸先輩のご支援のもと、部の面目を保つべく日々頑張っている次第である。一つ一つの試合の中で何かをつかみ、本当の「剣道北陽」の意味を自分で感じ取ってくれること、そこに期待して、永遠に続く北陽剣道部に想いを馳せて筆を置きたいと思う。



硬式野球部

部長 宮前 博行
(平成11年5月現在)

野球部員にとって夏の持つ意味は特別なものがあります。3年生は最後の大会に向けて必死の努力をしている時。1・2年生は何とかメンバーに近づこうと泥まみれになって白球を追っている時。それぞれに熱い思いを胸に秘め頑張っています。

今年の部員の特徴は、学年ごとに個性が異なる点です。ひたむきに野球に取り組む3年生、少しやんちゃだけれども野球となると目の色が変わる2年生、まだまだ精一杯の1年生と様々です。そうした部員達を目標を失わせることなく毎日を頑張らせることが、一番の課題だと考えて指導をしています。人間として成長させながら野球の結果を出す事の難しさを感じています。

最後になりましたが、今後ともご声援とご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



母校・クラブニュース(2)

水泳部



北陽スポーツよ、全国へ

監督 石坂喜一

今年は4年ぶりに全日本選手権に出場している。昭和55年以来今まで全国大会への出場は20年続いている。その間、全国高校総体へは、今季出場すれば17年連続19年目を迎えることになる。本校に入って来る選手達は、特に素質に恵まれた者ばかりでもない。全国へ出場したければ他人に負けない努力をするしか道はない事を常に訴えている。又、私自身が指導を怠り楽をすれば、選手達は試合で泣く事になる。私は、この北陽から全国の灯を消してはならぬと常に心に言い聞かせている。だから指導者としても絶対に気を抜くことはしない。平成元年に全国優勝して以来もう10年が過ぎてしまった。この北陽から再びこれを実現するためにはどうしたらよいかを毎日考えながら指導が続いている。

成功するための生き方をし、学習嫌いが学習を求める人間になれば、自然と栄光への道は見えてくるのである。他人にはない能力をつくりあげる努力をせよ。そんな私の主張のもとに選手達は、毎日元気よく泳いでいる。そうは言っても北陽は全体的にスポーツ活動は低下の傾向が見られる。各指導者の好意と強い意志だけで支えられているという現状。色々な仕事を抱えながらの放課後や休日の指導には疲れの顔が見られる様になって来ている。又、我々の様な個人種目の評価の低い教育現場。

活性化を失いつつある北陽教育は一体どうなるのだろうか。全国で活躍する北陽の時代は更に厳しくなって来たように思う。



北陽高校グリークラブ



部長 山口はやと

今年で2年目のクラブです。何をするのというと、男声だけの合唱をするクラブです。活動は、学校の文化祭で発表をしたり、高校の音楽会に参加し、他の高校と合同で歌っています。又、合唱連盟にも所属して、毎年、合唱祭に出演しています。



熱闘”夏の甲子園”1点差で惜敗

第81回全国高校野球選手権大会二日目の8月8日(日)、大阪代表の北陽は第二試合で甲府工(山梨)と対戦し、3-4で惜敗。

一回に1点先制したものの、追加点が奪えず得意の離投もうまく行かず、終始苦しい試合展開だった。

しかし、九回には1点差まで詰め寄る粘りを見せ、最後まであきらめずに全力をつくした北陽の「全員野球」には、甲子園を埋めつくした4万人の大観衆から惜しみない声援と拍手が送られた。

第二試合(1回戦)

北陽	1 0 0 0 0 0 0 2	3	(北)梅野、山本—中島	(甲)木内—長沢
甲府工	1 0 1 0 0 2 0 0 X	4	二塁打=田村(2)、秦(北)	木内(甲)

一回裏、先発梅野の調子が悪く3安打を浴びて1点を失い山本と交代する。

大阪大会ではリリーフエースとして絶好調で活躍した山本は、三回と六回に先頭打者に四死球を出し暴投が重なり残念ながら失点に結び付いてしまった。

中盤において走者が出ても決定打がなく、焦りのためか大阪大会で見せてくれた躍動するようなリズムがみられず試合は終盤を迎える。

3点を追う九回表、中島を皮切りに3安打が飛び出し二死満塁の好機に、秦が左越え二塁打を放ち2点を返し、さらに二死二・三塁逆転のチャンスであったが、最後の打者が力一杯振って三振となり、99年の夏の甲子園に別れを告げる。

今回の甲子園出場に際しまして、同窓会の皆様方には物心両面にわたるご芳情ならびにご声援を賜り、誠に有り難うございました。

(S26年卒OB 岡田 勉 記)



入 場 式



大阪府知事へ表敬訪問

あと一步届かず…夏舞台

(S35年卒OB 堀田 記)

大阪大会準々決勝から尻上がりに梅野、山本の離投策の確立と、どこからでもチャンスが作れる打線がかみ合い甲子園の全国大会に臨む。

8月8日(日)第二試合、三星側アルブースタンドは学校が用意した入場券があっと言う間にさばけてしまい、卒業生・家族等の入場をお断りせざるを得なくなる、折角応援に駆けつけてくださった方々誠に申し訳ありません。

一回、山下、田村の短・長打であっさり先制、先発梅野いつもの切れがなく一死1点を与え急遽山本のリリーフを仰ぐ、山本ピンチに三振凡打に打ち取り北陽のベースを取り戻すかに見えたが、三回・六回四球を足場に暴投で進塁を許し、適時打で追加点を取られた。

我が北陽もチャンスにあと一本が出ないまま、九回最後の攻撃となり二死満塁から秦の二塁打で2点を返し、一打同点の場面も思い切り振られたバットが空を切り3-4の惜敗となる。

新納監督、宮前部長、辻本コーチに日頃厳しく教えられたグランドマナーと応援団として試合に参加した残りの野球部員90名のスタンドが一体となり爽やかさを残した。

第81回全国高校野球選手権大会 大阪代表への道程

我が母校北陽は、昨秋新チーム編成後、秋の大会は2回戦・今春も1回戦で敗れ公式戦ではどうしても勝てなかつたが、春以降107人の部員が一生懸命練習に励み夏の大阪大会へ突入する。

「2回戦」 (H11・7・21・万博球場)

大手前 2 0 0 0 0 0 2

北陽 1 3 4 0 0 0 1 X 9 X 7回コールド

(大)橋元—三枝 (北)山本、梅野—中島

二塁打=秦(2)、山下、中島(北) 梶野(大)

「3回戦」 (H11・7・23・万博球場)

北陽	3 1 1 1 0 0 1 5	(北)梅野、山本-中島	(香)大谷、中務、広辻-清水
香里丘	0 0 0 0 0 0 0	5回コールド	本塁打=梅野(北) 三星打=川畑(北) 二塁打=中島、秦(北)

「4回戦」 (H11・7・25・南港中央球場)

盾津	0 0 0 0 0 0 0 1 0	1	(盾)高橋-雪江	(北)山本-中島
北陽	0 0 3 0 0 0 0 0 X	3 X	二塁打=西沢、山本(北)	田中、浜田(盾)

「5回戦」 (H11・7・27・万博球場)

浪速	0 0 0 0 4 0 0 0 1	5	(浪)新谷、宮川-新里	(北)梅野、山本、梅野、山本-中島
北陽	0 3 0 0 0 0 3 0 X	6 X	三塁打=秦(北)、宮川(浪)	二塁打=秦、田村(北) 辻、平林、新里(2)、山口(浪)

4回戦までは、対戦相手に恵まれ順調に勝ち進んで来たが浪速高戦では5回に逆転され苦戦する。7回トップ秦の三塁打と四球をはさみ粘りの北陽打線は三番山下の中前適時打・四番田村の走者一掃左中間二塁打で一挙に3点をあげ得意の離投策で逃げ切り準々決勝へ駒を進める。

「準々決勝」 春の近畿大会準優勝校・商大堺を梅野・山本の継投で完封 (H11・7・29・藤井寺球場)

商大堺	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	(商)和田-山下	(北)梅野、山本-中島
北陽	0 1 2 0 0 2 0 1 X	6 X	三塁打=山本(北)	二塁打=川畑、山下(北)

2回裏・本多の犠飛で1点を先制。3回には山下の二塁打で2点、更に6回に山本の三塁打で2点を追加し、7回には本多のダメ押し適時打で大会屈指の和田投手を攻略し、梅野・山本の好リレーで完封する。

「準決勝」 優勝候補の強豪PLに劇的なサヨナラ勝ち (H11・7・30・藤井寺球場)

PL	0 1 1 0 0 0 0 0 1	3	(P)植山-田中雅	(北)梅野、山本-中島
北陽	1 0 0 1 1 0 0 0 1 X	4 X	本塁打=田村(北)	三塁打=田中啓(P)

二塁打=覚前、七野、永山(P)、川畑(2)(北)

春の選抜ベスト4の1回裏トップの秦の内野安打を伊波が送り山下の中前安打で先制の1点を挙げる。3回に逆転されるが4回に田村の同点となる左翼ソロ本塁打で北陽ナインの士気が大いに盛り上がり、すかさず5回に川畑の二塁打を足掛かりに犠打で走者を三塁におくり山下の右前適時打で逆転する。

山本の好リリーフによりPL打線を8回まで抑えるが、9回に執拗にねばるPLに1点取られ同点となる。

いよいよ最終回の9回裏、氣力に勝る北陽は先頭打者梅野が四球を選び代走の佐藤が本多の犠打により二塁に進塁しサヨナラのチャンスを迎える。ここで動搖したPLバッテリーは痛恨のワイルドピッチをおかし佐藤は二塁から三塁へ進む。この一死三塁の絶好機に山本の左翼手前に落ちる安打で強豪PLに劇的なサヨナラ勝ちをする。

「決勝」 「全員野球」の北陽 集中打で5年振りの甲子園出場 (H11・7・31・藤井寺球場)

北陽	0 1 0 0 2 4 0 0 0	7	(北)梅野、山本-中島	(上)亀井、角野、増田-著尾谷
上宮太子	0 0 0 0 0 2 0 0 0	2	本塁打=西沢(北)	二塁打=秦(北)

北陽・梅野、上宮太子・亀井両投手の投げ合いで始まった試合は、北陽が中盤に集中打で上宮太子を圧倒し5年振り6度目の甲子園出場を果たす。

1点リードで迎えた5回、亀井から3連続安打を放って好機をつくり、秦の中越二塁打で2点を追加。6回には救援した角野から死四球を足場に本多の右前安打、西沢の右中間への3点本塁打で決定的な4点を奪った。また守備でも内野手が随所で好守を見せ、連投の投手をもり立て、創部2年目の若いチームで、一戦一戦力をつけて来たダークホースの上宮太子に圧勝し、見事激戦地大阪大会184校の頂点に立つ事ができた。

[観戦後記]

残念ながら昨秋は2回戦、今春は1回戦で大阪大会の公式戦に敗れており、夏の大坂大会は何回戦くらいまで行けるかなと思っていた所、我が母校は一戦毎に力をつけて準々決勝では、春の近畿大会準優勝校の商大堺を6-0の完封勝ち。

準決勝では、春の選抜出場校の強豪PLを相手に接戦の末4-3のサヨナラ勝ち。

決勝では、破竹の勢いで勝ち進んで来た創部2年目の若いチーム上宮太子と対戦7-2で下し、あっと言う間に大阪大会を優勝。

マスコミの前評判もなく、OBを始め学校関係者、地元でいつも熱心に応援して戴く人々には恐らく北陽の優勝は予想できなかつたのではないだろうか。

筆者は春先に、新納監督にグラウンドでチームの状態を聞いたことがあったが、その時に練習の中で、選手個人個人との対話を増やし、問題提起しながら正しい理解力を育ててチーム全体の心・技・体についてレベルアップを図って行くと、力強い発言が得られた。

日常の練習に新しく考える野球を取り入れ選手達に個々の目的、目標を持たせて積極的に取り組んで来た監督の地道な指導が見事に実を結び開花したのが、今年のチームがモットーとする全員野球ではなかろうか。

特にスター選手のいないチーム全員が猛練習で技術を磨き、チームワークを身につけ、その中から自信が生まれチーム全体の総合力が各試合毎にうまく發揮できたのが大きな勝因であろう。

(S26年卒OB 岡田勉記)

同窓の近況(1)

ボクシングと我が最良の友「栗田文吉 君」

同窓会長 三木 憲三 (S23年卒)

昭和20年8月、大東亜戦争に我が国が敗れ、漸く我々は学徒動員から解放され母校北陽に復学することができた。

待っていた懐かしの校舎は、窓ガラスの殆どが破れ廃墟のような状態で迎えてくれたのを覚えている。

当時は敗戦の後遺症により食糧はもとより全ての物資が大変不足し、空腹で辛い日々を過ごしたことが思い出として脳裏に残っている。

年が変わり昭和21年にアメリカンスポーツの普及を目的として、毎日新聞社主催で中等学校(現高校)を対象とするボクシングの講習会が開催された。

当時は米軍の占領政策の一環として剣道・柔道等は認められず戦前から剣道で勇名を馳せた北陽は、他の部活動も休止している状態でスポーツに飢えていた私は同級生の栗田文吉君ら総勢5名で、ボクシング講習会へ参加することにした。

参加校は、浪速中学他20数校で、講師は関連同立のOBでボクシング選手として活躍された方々が担当される。指導を受けるうちに「拳」で闘う男らしいスポーツに魅了され、早速受講したメンバーを軸に北陽ボクシング部をつくって頂き我々は猛練習に入る。この講習会を契機に他校でも次々とボクシング部が誕生し、活動が開始されるとともに大阪府下では中等学校のボクシング熱が一挙に急上昇していった。

翌年の昭和22年秋、初めて全日本中等学校ボクシング選手権大会が開催されることになり地方予選が始まり、北陽からバンタム級の三木とフェザー級の栗田が勝ち進み、更に関西地区の決勝戦において両者が揃って勝ち残り、東京における全国大会へ晴れの関西地区代表として出場することが出来た。

私はお陰様でバンタム級の初代チャンピオンを獲得したが、栗田君は決勝戦で終始優勢であったがロープロウの反則があり残念ながら判定負けとなる。試合には勝っていただけに一発のロープロウが惜しまれる。然し我々は北陽のボクシング部の創設時に微力ながら貢献出来たことを今でも誇りとしている。

そして昭和23年に関西大学へ我々二人を含め有力選手が入学し、関大ボクシング部戦後の黄金時代を栗田君たちと築いたことも、良き思い出として残っている。

その中でも、栗田君の打たれても打たれても相手コーナへ追い詰めて連打する攻撃的なボクシングで強さを發揮した粘りは、社会人としてヤンマーディーゼルに入社後も持続し、第一線営業マンとして活躍、平成7年専務取締役の要職を最後に退任したが、彼は自らの人生の原点はボクシングにあったと言う。

栗田君は昨年(平成10年)暮れ、関大ボクシング部再興のため監督を引き受けたのは自分を育ってくれたボクシングへの恩返しのつもりだろう。未だボクシングに衰えぬ情熱を傾注する姿勢には頭がさがる想いである。

私にとって栗田君は、北陽・関大・社会を通じて人生における最良の友人であり、そして今は北陽同窓会の副会長として私を支えてくれる良き相談相手としてかけがえのない存在である。



三木 憲三



栗田 文吉 君

(同窓の近況)(2)

新進・気鋭のプロゴルファー

井田安則君(昭和58年卒)のツアーチ勝利を願って

4月4日(日)デサント・クラシック最終日、井田安則プロは17番ホールまで13アンダーと、2位に2ストローク開けて首位をキープ、プロ入り12年目にして初優勝は確実と誰の目にも映ったのだが、最終の18番ホールで2打目をグリーンの手前に落としたため急傾斜が災いしてボールが池に入る不運とドロップゾーンが、ルール上傾斜のあるラフになってしまいまたもや池に入り優勝を目前にして惜しくも初勝利を逃す。井田君は高2まで野球をやっていたが父上と兄がゴルフの愛好家であり、自然にスポーツマンの本人はゴルフに興味をもつようになり卒業時同級生の木下俊哉君の父親が経営するゴルフ場スポーツ振興会にプロゴルファーの研修生として入社することができた。師匠は関西の雄、橋田規プロに師事し本人のたゆまぬ努力と精進により、僅か4年半で難関を突破し昭和63年目出度くプロのライセンスを取得する。



4月15日から始まった、つるやオープンゴルフは井田君の育ったホームコースのスポーツ振興CC山ノ原コースで開催されることになり、応援と同窓会報の取材を兼ね岡田・塩田両理事が駆けつける。

スタート前の練習場ではテレビでおなじみの、尾崎直道・飯合肇・D.イシイプロはじめ総勢160名の選手が交代で練習する様子は、なかなかの圧巻であった。

井田君はベテランの高橋勝成・若手の桑原将一と同組でスタートしたが、常に2人をリードしながら正確なショットと絶妙なパットが各所で見られ初日は2アンダーであったが、ホームコースでもあり優勝または上位入賞を期待したい。

プロゴルファーには個性の強い人々のマナーの余りよくない人とかいろいろあるが井田君のプレー振りは、常に静かで顔の表情も穏やかでどんなトラブルでも動ずるところがなく、颯々としたプレー振りに我々は魅了された。

ラウンド終了後、本人に激励と面談をしたが、今年の目標は優勝とシード入りを狙いたいと力強い言葉が帰ってきた。(井田プロの初勝利が近からんことを祈ります)

同窓の近況(3)

昭和33年卒業同窓会

神山興三(昭和33年卒)

平成10年9月6日午後1時から、尼崎のアーバンリゾートクラブに於て、岡田博君幹事のもと卒業以来始めての同窓会を開催した。

当日28名の参加があり、友達方より来るで、西は北九州、東は東京からの参加があり、40年振りの再会に、大に盛り上がり、当時担任であった林校長先生を囲み、和気あいあいの雰囲気の中たがいに酒を酌み交わし、当時の思い出話に花が咲き、出席者全員の自己紹介と近況を語り、夕刻4時頃に散会、その後クラス単位でクラス会を開き、再会を誓い会場を後にした。



▲昭和33年卒業同窓会

久しぶりに母校を訪ねて

理事・東京支部事務局長 内海昭(昭和43年卒)



32年ぶりに母校の地を踏んだ。同窓会の役員に推薦され、代議員会で承認を戴き、ご挨拶する為の訪問だった。加えて、やや遠のいていた父の眠る佐用の菩提寺へ出向き、墓参とご住職への近況報告が目的だった。

体育館のある現校地は、私にとって勉学以外の様々な情操を得た場である。連日夜遅くまでバレーボールに情熱を傾け、嫌という程「根性」を培った。そんな中でも合宿では、買い出し、調理の合間をぬって、周辺の野原で昆虫や小動物を追いかけていた……古い記憶の井戸から原風景が、新幹線の車中でめくるめく思い出されていた。

阪急電鉄上新庄駅を下車し、迷うことなく校地に着いた。正面から見る五階建ての校舎は壯觀である。中でも竜安寺の「石庭」を想わせる、廊下から眺める空間の趣向は、高尚な《知徳》を配慮したものだろうか。在校生は誇り高き学舎に敬虔の情を抱くはずである。

「会」が始まった。林校長の挨拶を目の前で拝聴した私は、感慨を新たにした。三年間私の担任で、国語教育に情熱を傾けておられた恩師の口から、お孫さんの話題がでたのには意外だった。入園式での一光景を奇異に感じ取られ、21世紀の教育の多難性を強調された。その通りだと思った。子に対する親の「第一教育」の重要性を痛感した。現場教育に携わってこられた先生の信念がひしひしと伝わってきた。

講演会終了後、「講演」予定の長崎慶一氏が多忙で欠席。代役として前席に立った私の演題は、必然的に「教育—今を生きる」と決まったのである。

上京し志を立て、文学に染まりながら、人間学に身を投じ、教職に就いた行きさつを語りながら、「教師は生徒に学ぶ」を継続、実践してきた。折から世に出した自費本『青の野望』を紹介し、寄贈した。自主性をなくした生徒、キレの子供、不登校(私事を含めながら)……と教育現場では問題が多い。愛情をもって子供の夢を育む。そして今を生きる。

ともあれ、その場での大役を何とか無事に果たせたのは、一重に聽講して戴いた諸先輩方のご厚情による所が大きい。翌朝早く佐用へ墓参に向った。

第4回 北陽高校同窓会ゴルフコンペ開催

第4回目を迎えた同窓会ゴルフコンペが、8月26日(木)スポーツ報興カントリー倶楽部(山の原コース)で開催された。

山の原コースは、今春「つるやオーブンゴルフトーナメント」が開催され関西では有名なゴルフ場で、この場所で同窓会のゴルフコンペが開催できたのは、昭和58年卒・木下俊哉君の父上がスポーツ振興会グループの経営者で、今回の同窓会行事に格別のお取り計らいを始めご支援を戴く事ができ、お陰で競技全般が大変スムーズに進めることができた。

いよいよ競技開始0UT・IN同時スタート、今回の参加者は同窓会員及び福武学園・福武副理事長・西岡理事を始め毎回参加の硬式野球部・松岡前監督、そして特別にご参加戴いたゲストの方々を含め総勢80名の大ゴルフコンペが始動する。

当日は、残暑の厳しい一日であったがスコアは兎も角として、久しぶりにお互いがプレーを楽しみ、気持ちの良い汗を流すことが出来た。

競技終了後倶楽部において、三木会長の挨拶でパーティが始まり先輩・後輩並びにご参加戴いた方々との懇やかな懇談が続き、ゲストで初参加の阪神タイガース前監督吉田義男氏・朝日放送スポーツ局長因田宏紀氏のスピーチで大いに盛り上がる。

表彰式では、今回もゲストの方々から頂戴したいろんな賞品や、仕事の関係で参加できなかった卒業生の、元阪神タイガース長崎慶一(シドニー五輪強化合宿コーチ)阪神タイガース二軍監督岡田彰布・プログラファー井田安則…各氏からの賞品寄贈で盛り沢山の賞があり、今年の同窓会ゴルフコンペも大盛会で幕を閉じる。

競技成績

		GROSS	HDCP	NET
優勝	西岡達郎(S35年卒)	87	14.4	72.6
2位	小林光富(S35年卒)	87	14.4	72.6
3位	塩田修三(S35年卒)	93	18	75
BEST GROSS	三木憲三(S23年卒)	79 (OUT 36 IN43)		

(広報担当)



第3回 北陽同窓会ゴルフコンペは、昨年10月5日(月)爽やかな秋晴れのなか、ライオンズカントリー倶楽部で開催されたが、同窓会報誌が経費の関係で年1回の発行となり会報21号(9月10日)で報告出来なかったことをお詫びします。

第1回より毎回いろんなゲストの方が参加されているが、第3回目はイラストレーターの成瀬国晴氏にご参加いただきスポニチ新聞に3回に分けてユーモアたっぷりの記事を掲載頂いたのでスポニチ新聞の切り抜きを報告に変えさせて頂きます。

(11) 10版

平成10年(1998年)10月28

スポニチグラビア

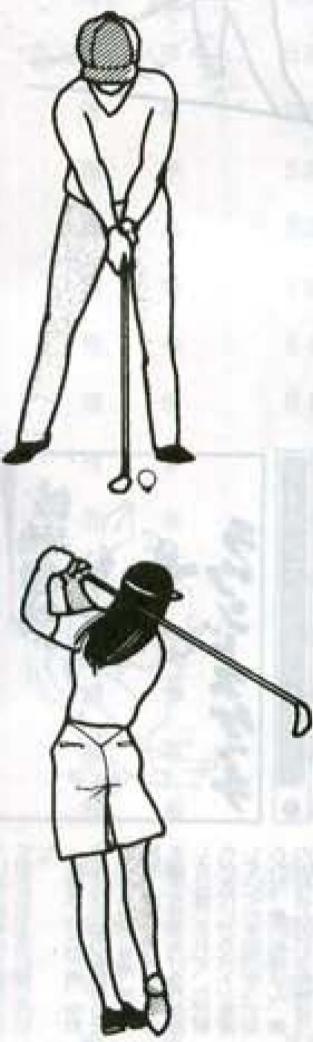
これが甲子園で緊張ほどすテクニック

ライオンズカントリー倶楽部

北陽高校の同窓会からこの間柄、さて如えて高校生のお説いを受けた。同野球の詳論で本筋でもおなじみの三木義三会長がわが町の北陽高校野球監督でもあった松岡先生さんと、それでは前夜祭をどうぞおも久方ぶりにプレーができることになり、パートナー4名の勝手わたしはわ

松岡さんの歌に聞き惚れた

知り住んでおられる松岡さんは、先日の豪雨で一階座敷が浸水したにもかかわらず、中村さんをお説いして頂上は来なければほんの少しは来なけれど朝日から来坂された。それで前夜祭をどうぞおも久方ぶりにプレーができることになり、パートナー4名の勝手わたしはわ



の替え歌が、松岡さんの美顔とともに部屋に広がった。中村さんも目を細くして聞き入っている。あの件と歌とかからは見えない甲子園で、こんな緊張をほぐすテクニックがあつたのか、と聞きほれていたわたしの心が翌日のコンペで大きな意味を持つほどの時運でもみがつた。

人三木さん、足立さん人が加わって楽しい夕食会となっていました。甲子園をあざしてしまった甲子園監督の中のさを削った甲子園監督だが、今やおだやかな顔になってしまった元タイガースの中嶋打者つて當時の思い出に花を咲かせ、おもしろいエピソードがひちそうに加わった。

さ 気まぐれ野球に明日なんがあるものか、熱てうやえ、勢てうやえ、どうせ若った。甲子園現代コロムビア・ローズ

(11) 10版 平成10年(1998年)11月2日(月曜日)

ス

スポーツチカラ

けさんをするコースは
か。ブルーコースはモレ
ーんで移動。西郷は次相の
元議院の室山助助さん
や「いつも内野ノックし
ている人はよろしくなま
く」と室山さんが「じねりま
わざるるだけですよ」と
けさんをするコースは



ライオンスカントリー俱乐部 中
ライオンスカントリー俱乐部 中

"大叩き"に思わず松岡節を合唱
リズム快調に…



第3回北陽高等学校野球部の中村
輔打者だった長崎慶一さ
ん、そしてマストの前JL
選手権野球部監督の中村
輔司さんでスポーツマンは
か。ブルーコースはモレー
ーんで移動。西郷は次相の
元議院の室山助助さん
や「いつも内野ノックし
ている人はよろしくなま
く」と室山さんが「じねりま
わざるるだけですよ」と
けさんをするコースは

どうですか」と長崎さん
が野球を教わった松岡さんに
かた風の中で贈られた。バ
ートナは前北陽高等学校
監督・松岡英孝さんと同窓
の日で、阪神タイガースの中
村打者だった長崎慶一さ
ん、そしてマストの前JL
選手権野球部監督の中村
輔司さんでスポーツマンは
か。

みたいに得意の多い方が時
さんは自信なさう。ブ
ーラーがホール同時に中
村さんの快打が秋の日さし
みかけるように飛んだ。2
5.0ftは飛んでいる。長崎
さんは「左打ちに最近変え
たところで曲がるから」と
お詫びした。中村慶一さ
んは「左打ちに最近変え
たばかりで、転んでいる男にそ
んなことをきくな」と車
内には泣きながら野球

は飛んでいた。

「左打ちで左バンカー

へ。わたしは左バンカー

へ落ちるな」ラフで松岡さ
んはナイスショット。

残り3ホールを突破し、

グリーンオーバー、さうく
りといきなりの、というより
いつもバタバタでオノ

をしたとき、中村さんと長
崎さんは「オーフ、松岡さん
は3オンとはや差がつい
た。2番ホール左OB、3番

右OBとペールボギーの

三人と若がって、リズムが
わたしのではない。

中村さんはいつもエア

ウェー真ん中の250ヤード

向に打ちバーを重ね、OB

をたまには打つけれど長崎

さんは懶惰している。わた

しは「おお、おお、おお」と大叩き。

見えたとき、突然野球の歌

ギ・ボギーわたしは快

がみがえってきた。歌と

調になり、なんと松岡さん

はおれども「ひびきを

ひびかせ

る、ひびきを

かんでおれ

るからおも廣い」「お手

を握らず、バーのあとに

打ちだす。そもそも、い

アプローチです」と教

習されたが、長崎、西郷

、森田、吉田の多い

家庭生活を

使うぞ。バーのあとに

打ちだす。それほど、い

いがめられないトーンを渡

していいかを考へかってお

られた。歌の調子を、静かに、平

たた波

に流れているボールは

打つまに弾きが入つてい

られた。歌の調子を、静かに、平

たた波

に流れているボールは

打つまに弾きが入つてい

られた。歌の調子を、静かに、平

たた波

に流れているボールは



ゴルフも野球もPシは発かつた



3人と若がって、リズムが
わたしのではない。
中村さんはいつもエア
ウェー真ん中の250ヤード
向に打ちバーを重ね、OB
をたまには打つけれど長崎
さんは懶惰している。わた
しは「おお、おお、おお」と大叩き。
見えたとき、突然野球の歌
ギ・ボギーわたしは快
がみがえってきた。歌と
調になり、なんと松岡さん



ライオンスカントリー俱乐部 中
ライオンスカントリー俱乐部 中

でねらせる「ゴルフも野球
は飛んでますな」と不調の調子

が発うが、この2人には、もうすべ

てを超えてゴル

フのやさしさがキャデ

ーのサイン入りハイヤー

の松岡監督の公

開校式で、その中

の井田安則プロが並

て盛況だ。

朝日、東京新聞で500ヤ

ードの井田安則プロが並

て盛況だ。

高校野球の名門校PL学

園と北陽高校の名監督の講

壇に登場したのは、今

のゴルフボールなどが並

て盛況だ。

高橋監督の名門校PL学

園と北陽高校の名監督の講

壇に登場したのは、今

のゴルフボールなどが並

て盛況だ。

「正面にいるのが、

松岡監督がいまよ

みがえってきた。

「正面にいるのが、

松岡監督がいまよ

みがえってきた。

ご協力のお礼

協力金推進委員会

平素は同窓会発展にご協力賜りましてありがとうございます。

前回発行しました会報に掲載させていただきました以降にご協力いただきました方々の氏名を掲載いたします。今後共よろしくお願い申し上げます。

銀行口座振込者

明弘法己健利
正隆正勝 定
田月田崎田藤
村望安山吉依
雄雄昇郎三晃治哲三之
康嘉 三省正哲英憲康
田島滝川田島田永木永
濱福藤堀前松松三宮
作美行浩章郎夫夫一男
賢克成 裕達昭和太芳
田西海路村岡川田本本
寺寺東中中西西西西
明彦夫洋一彦昭豊郎治
未昌昭 健安子 一眞
島梨岡田中玖村越 田
城高武竜田珠田塙佃津
二幸富治信樹弘清三一
啓常光俊和直 修半
村宮林林森根原木田谷
木釘小小坂阪佐塙塙
勉弘昭一博弘生三亘幸
則龍武城正興 浩
田野上木井勢尾山井合
岡岡尾拂堤嘉神神龜川
足栗生石稀入岩上牛岡
央吉勇治幸雄次夫一布
宗文 幸盛春雅龍良彰
立田島井嶺江城砂神田
浦本城野田本野野所
成浅上川佐下樺平牧向
度琢磨勝良忠忠正雅登
9年浦本城野田本野野所
10年井田宕立 部井木巻谷田田見川井東垣嶺村上上井田村江
磨司良晴雄次勝男郎 治弥男明男裕希夫吉輝一夫雄一至輔雄幸二平二八男稔一平

郵便払込者

明弘法己健利
宏地孝登順正俊明俊信純 則博明 千勝忠孝秀雅智 陽義健美広重孝太
密三宮向村村元森森森安康谷柳矢山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山
治一弘男郎詞夫弘栄男夫次武義生男夫明勝孜充郎伯男誠美信七彦博勇正豊一隆三寛
光容幸義清智和昌 守顕敏喜 重翠治貞信 宅三浩雅 隆十正勝 純勝憲敏
沢田本野 口谷尾野島鷗武岡川田場川柏野井岡川田野野元田舌田井浦原村本木利
野延橋畠林林極菱平平福福藤藤藤札古法星曜曜曜前牧牧孫味増松松松松松三水
三博作一之勝雄茂雄行介海雄男聰一司男治栄夫雄允泰雄祐次行郎修勇夫司将尋男男男
勇 大章隆 義 良祥祥春利正 仁好一 正正良善一 喜忠高達 和誠佳千一芳三
本置村村 田井時武内田山井井尾川谷野村村山岡谷秉本尾岡川田田田野村本山
谷谷玉田田辻津寺十友豊豊烏土土中中中中中中中中中中中中中中中水長櫛櫛西西西西西西
郎光男勝樹馬隆利信徳三介明志久行之次一男明之範夫昌夫悟勇行郎也雄則樹造光則美
一之忠 直龍 英政広芳龍末武勝好崇徳二道 裕和茂維滋 伸三和与實直保徳安正
藤仏下田根平本野山津 倉島甲上上浦村本木部川田岡木木橋口下田知若田林中中中
斎西坂坂坂坂坂坂佐澤塙芝白城上須須杉杉鈴瀬十園高高高高高田竹武武竹多立田田田
二晃志弘助保吾生行郎茂一仁平治一次仁浩哉雄一哉夫照幸夫治雄助夫雄勇夫郎義勝富
修 貴敏平 正正雅浩 昇 章良憲慶平仲 俊不洋裕利義常秋 貞精信好 武一隆 光
賈賈山山原勢田田村尾垣田上田西野多川村寺下下村國馬宮宮田柄本 田田田庵柏西林林
加加笠嘉勝金金神神鴨川川菊喜北北木木木木木木清金釘釘倉栗栗異黒黒黒糖小小
治治雄弘也敦一三寛治男次次昭稔之次芳雄滿雄洋勝和三通人一也布來修三明道章彦彦
悦春 貴 吉昭 権良勝種 博作通兼辰辰 佳健良昭耕正彰奉得正正 忠国
崎永木浦川谷田田川原田山海野野浦藏松川倉芝竹谷野森崎田田田村本木川田田野原
岩岩岩上上上上上上鶴氏内内内宇宇姥江枝大大大大大岡岡岡岡岡岡岡岡岡小奥奥小小
度琢磨勝良忠忠正雅登 度正純敏美忠 将俊孝 憲一秀隆弘伸文盛昭孝三優信 圭恭
9年浦本城野田本野野所 10年井田宕立 部井木巻谷田田見川井東垣嶺村上上井田村江
磨司良晴雄次勝男郎 治弥男明男裕希夫吉輝一夫雄一至輔雄幸二平二八男稔一平

業者

祐雄明靖三道勝
喜嘉信裕惠清
吉通三富夫作允
文良興光昭賢善
田森林岡田山
栗大神小武寺中

平成10年度 同窓会報
会員登録申込用紙

事務局便り

1 本誌の三木会長ご挨拶の中で、母校創立75周年記念式典開催を触れておりますが、実行委員会を既に編成し準備に入っております。

予定としては、来年11月4日(土)午後5時より 新阪急ホテル 紫の間を予約しておりますが、内容については現在委員会で立案中につき決定次第ご案内致しますので、その節は是非ともご出席頂けますよう宜しく御願い申し上げます。

2 会報・第21号(1998年9月10日)・同窓の近況欄でご紹介した登山家・小西浩文君(昭和55年卒)の雄姿が、今春よりT V朝日のCM(日栄・提供)で放映されておりますが、皆さんご覧になってますか。

3 事務局の書記さんが交代しました。

前任の三島三佳さんは、本年大阪経大を卒業し就職されました。

後任として、山下瞳さん(関西大学)が新しく事務局をお手伝いして頂くことになりました。

前任者同様よろしく御願いします。

勤務時間：火・木曜日………9時～12時

土曜日………9時～14時

[訃報] 北二郎氏(昭和6年卒)

一部上場の阪和興業株創業者・取締役相談役・名誉会長 北二郎氏(享年86歳)は、7月26日(月)午前9時00分肺炎のためご逝去されました。

母校創立70周年記念式典開催時には大変ご協力をいただき、御高齢でありながら式典にお元気な姿を見せていただけました。代議員総会にも時々ご出席され母校並びに同窓会活動にご関心いただきました。

大先輩のご逝去に対し北陽同窓会役員一同は、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

過ごしやすい爽やかな秋を迎え会員の皆様方にはいかがお過ごしですか。

ご承知のように同窓会報の発刊は、経費節減のため昨年度より年1回になりましたが、少しでも内容が充実できるよう広報委員一同微力ながら努力しておりますので、皆様方からの積極的なニュースのご提供やご投稿を下さいますようお待ちしております。

(岡田 勉)

平成12年9月発刊予定(リニューアル改訂版) 創立75周年記念『会員名簿』現在制作中

同窓生の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、母校も創立以来74周年の歴史を刻み、28,000名を数える卒業生を送り出すことができました。

この度、同窓会では来年(2000年)の創立75周年を記念しまして「北陽高等学校創立75周年記念会員名簿」を新たに改訂発行する運びとなりました。

つきましては、今回の名簿が卒業生一人ひとりの旧交を深める意義のあるものになりますよう、お手数ですが、調査カードへの記載内容のご確認を戴き同窓会発展のためにも購入のお申込みを賜りますようお願い申し上げます。

予約価格：4,660円(送料・税込)

不明者調査ご協力のお願い

■同封の不明者一覧には

- (1) 宛先不明、移転先不明等のため戻った方(町名、番地変更の戻りを含む)
- (2) 前回発刊した名簿(平成7年版)で住所不明の方が記載されております。

■事務局では、一人でも多くの同窓生の正しい住所を掲載するために、住所調べを行なっております。

しかししながら、現在も住所のつかめていない方がまだまだおられます。一般の中に、ご存じの知人(同窓生)やご家族の方がおられましたら、同封の「住所不明者連絡ハガキ」にて現住所をお知らせ下さい。(「住所不明者連絡ハガキ」の紹介面を直接FAXしていただいても結構です。)電話番号あるいは勤務先名だけでも結構です。

また同期会、クラス会、クラブのOB会等の名簿や勤務先内の同級生名簿のご提供も大歓迎です。

なにとぞご協力のほど、よろしくお願ひいたします。
尚、会員番号は必ずご記入下さい。

※情報を頂いた方でまだ記載されている方は、現在確認中です。

北陽高等学校同窓会事務局

名簿作成受託会社 中央出版印刷株

FAX 0120-415-065

TEL 0120-064-150

制御盤配電盤制作・計装電気工事

共栄電器工業株式会社

代表取締役 同窓会参与 柳 楽 喜 祐 (昭和17年卒)

本 社 〒660-0815 尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話大阪(6481)8807~0番(代表)・(6489)3041番
東京営業所 〒177-0033 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
及 工 場 電話東京(3904)1521番

(工事製作部門)
総合電気工事・設計・施工
自動制御盤・製作

(代理店・販売部門)
ヤンマー・ディーゼル基幹特約店
④愛知電機アイチトランス特約店

— 心と技術で明日を築く —

栄興電機工業株式会社

代表取締役社長 北陽高校同窓会会长 三木憲三 (昭和23年卒)

本 社 / 〒661-0971 尼崎市瓦宮1丁目9-15
電話(06)6491-5301㈹ FAX(06)6493-1051
支店・工場 / 〒566-0043 摂津市一津屋3丁目3-14
電話(06)6349-2831㈹ FAX(06)6349-0765
営業所 / 西宮・宝塚

武岡製パン株式会社

代表取締役 同窓会参与 武岡 昭夫
(昭和23年卒)

〒560-0031 豊中市螢池北町1-12-5
TEL(06) 6 8 5 7 - 5 9 4 0

大森モータープール

元 同窓会理事 大森 良通
(昭和26年卒)

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路4-13-16
TEL(06)6322-0001・0008

尼崎工業株式会社

代表取締役 同窓会理事 神山 興三
(昭和33年卒)

本 社 〒676-0074 兵庫県高砂市梅井3-25-23
TEL(0794)48-6616代 48-6617
FAX(0794)47-2072

北陽高校ボクシング部OB会

幹事長・同窓会理事

小林光富
(昭和35年卒)

〒662-0038 西宮市南郷町13-22
TEL(0798)72-7628

塗装工事請負※看板製作一式 見積無料
大阪府知事許可(般-55)第56974号 近畿郵政局・吹田市指定業者

株式会社 寺田美研

代表 同窓会理事 寺田 賢作 (昭和42年卒)

〒564-0026 吹田市高浜町4-7
TEL(06)6381-2401 FAX(06)6319-3843

吹田市議会議員
北陽高校同窓会 理事

吉田勝
(昭和45年卒)

〒565-0862 吹田市津雲台2-1-C15-101
TEL(06)6832-0660

タイヤの専門家です!!

ミニバイクから大きな建設機械のタイヤまで
あらゆるタイヤの御用命は…誠心誠意の店!!

Tsukaguchi Tire CO., LTD.

塚口タイヤ 株式会社

専務取締役 松田裕晴 (昭和53年卒)

〒661-0011 尼崎市東塚口町2-4-54
TEL(06)6428-2018 FAX(06)6428-2023

心斎橋
日本料理 四季

い・ち・り・ん

〒542-0085
大阪市中央区心斎橋筋1-4-12

■年中無休
■予約電話/06(6243)5115

代表 中山善允 (昭和59年卒)



リコーOA機器専門店・総合コピーコーナー

東洋オフィスマシン 株式会社

A B C コピーセンター

代表取締役 中山 美知恵

本店 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3丁目8番14号 大鋼ビル1F・3F
TEL大阪(06)6304-8491代 FAX大阪(06)6302-9595
エサ力店 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目20番30号
TEL大阪(06)6385-9632代 FAX大阪(06)6385-9633

複写機・ファクシミリ・ワープロ・オフコン・PPC機付・青写真・カラーコピー

各種贈答記念
アイデアと企画の店

安田商会

〒532-0013 大阪市淀川区木川西1-6-25
TEL(06)6303-2070 FAX(06)6307-0260



人が好き。地球が好き。旅がスキ。

近畿日本ツーリスト

<http://www.knt.co.jp/>

大阪第2教育旅行支店

〒530-0057 大阪市北区曾根崎2丁目11-8(日興ビル7階)
TEL(06)6313-6900代

担当 中川昌人

- 各学校美術科設備品及び教材
- デザイン材料・額縁
- 和・洋絵画材料

有限会社 渡辺画材教育用品社

事務所 〒564-0014 吹田市吹東町32-1
TEL(06)6383-1404
FAX(06)6383-1418
支店 大阪成蹊女子短大美術ショップ
TEL(06)6340-1479

HANKYU

阪急東宝グループ

修学旅行・校外学習(JR各私鉄団体券)、貸切バス
海外研修旅行(留学、ホームステイ、語学研修)
(特にセキュリティー・ネットワークを構築し安全危機管理に力を入れています)

教育旅行のコンサルタント

阪急交通社 教育旅行センター

TEL 06(6455)3600 FAX 06(6455)3617

〒553-0003 大阪市福島区福島7丁目15番26号 大阪YMビル4階

担当 東 朗

● フィルムレンタル

邦画、洋画、独立プロ、等35m/m版・16m/m版在庫豊富!!

● クセノンピンスポットライト

スクリーン、暗幕装置

スライド映写機等のレンタル

ご一報次第係員がお伺いします。

淡路東宝

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路4丁目7-7
TEL(06)6322-2602 FAX(06)6325-6811